



鬼城山ビジターセンターで対談した。左から片岡聡一総社市長、中村吉男総社市議会議長、三宮信夫岡山県立大学学長

# 平成21年の抱負

- 新たなるチャレンジ、新たなる政策、新たなる進捗に向かって、立ち止まることなく、アクティブに前進し続けたい —— 片岡市長
- 総社市の未来創生のために、議員24人が全力で、手を携えてがんばっていかねばならない —— 中村議長
- 知恵とアイデアと発想に、我慢と勇気を付け加えて、今年を乗り切るといふことでやっていきたい —— 三宮学長



## ◆全国に総社を発信

**議長** そうじゃ吉備路マラソンですが、総社の名を全国に発信するという意味で、非常に意義深い大会になります。

**市長** 合併後初なので山手や清音地区も走るよう、コースを一新しました。リニューアルというより、創設ですね。

**議長** 野口健さんに総社の環境観光大使を委嘱し、総社観光プロジェクトでは、分科会もでき活発な議論が行われて頼もしく思

**議長** 物づくりの成功は、人づくりにもつながるものです。大学のもつ可能性もアップするんではなからうかなあと思います。

**市長** 産官学というのは、言葉では非常にたやすいことですが、やろうと思えば非常にむずかしいと思います。成功事例といわずとも、何か糸口を目指してきたいです。

**議長** 今年、胎動から飛躍する年にと市長は言われますが、

**市長** さまざまな政策というものを実現していくこと、限りなく新たなチャレンジ、新たな進捗ちきくというものを目指し続けていきたいと思っています。

**議長** 市の機構改革も予定されていますよね。

**市長** 4月1日付けで行う機構改革の検討を進めています。市民の立場に立ち、全ての部、課、係を見直します。例えば、国際交流、地域密着主義、窓口サービスの充実などの部署の新設を考えています。それから、施設の有効活用観点から清音支所に事務機能の一部の移転も検討しています。

**議長** 費用を削減し、新たな財源を確保することに努めていきます。

**学長** ふるさと納税の効果はどうですか。

**市長** 231万円の寄付をいただきました。納税された人の気持ちに答えられるような使い方をしたいなと思っています。

## ◆夜間の医療体制

**議長** 最後に、夜間の救急医療対策については、市民からの要望が絶えない大きな課題ではなからうかと思っています。今、医師会と話しをしようというのですが、市民は期待をしています。

**学長** 夜間の輪番制の医療というものも確立できれば、市の魅力として大きなPRになると思います。本学の学生も総社市には多数いますから、がんばってください。

**市長** 吉備医師会と協議を重ね、夜間の在院での輪番制でやっついこうと細部を詰めていく作業をしています。できるだけ早く形にし市民の皆さんに公表したいと思っています。

科の学生の勉強にもなりますが、大学内に適当な場所がなくて……。

**議長** 今、子育てをしている人が、子育てをすることに心配しなくていいような支援を行って、「総社という所は、本当に子育て王国だな」と、自然に言葉が出てくるようにしたいですね。

**市長** 子どものあり方を定める子ども条例を制定し、子どもを守っていくと思います。総社市は、人口に占める外国人の割合が中国5県で第5位。共に生きるパートナーとして、子育て王国のメニューのなかに、在住する外国人も組み込み、国際的な環境をプレゼントしていきたいと思っています。

## ◆人づくりも重要

**議長** 市役所も人事考課制度を取り入れ、人材育成に力を入れています。大学はその道のプロで、この地域を伸ばす人材を育て、この地域で活躍してほしいと思うんです。

**学長** 人づくりというのは、グローバル化の時代においては、非常に、多様な対応をしなければならぬと思います。人づくりは、地域の魅力づくりと表裏一体であろうと思います。とにかく魅力があるから、人が集まる。あるいは、そういう人が集まるから、ここでやらんといかん。そういう方向で今後進めていかれたらと思うんです。

**市長** 人間というものは、もって生まれた才能で生きていくのではなく、後天的に何か新しい刺激を受け、成長し向上すると信じています。「総社を好きになる。総社に帰りたい」というような教育も目指していきたいと思っています。

**学長** 総社市は企業誘致で新しい企業がどんどん増えてきているとお聞きしていますが、産と官と学の連携というものがこれから大事なことになる。大々学も、新たなチャンスの創出になるとも思っています。



## ◆機構改革にも取り組む

**議長** 今年、部長マニフェストの事項が、実を結ぶ年にしていかなければならないですね。

**市長** 機関を設け、進捗状況のチェックをし、市民に報告したいと思っています。

**学長** マニフェストでできたことをチェックして、それに対する対応アクションが一番のポイントです。結果に対して、どういうふうに変更するか、具体的にどう行動するか、そこから何を生み出すか、実行するか、それが重要だと思っています。

**議長** 財政が厳しい状態が続いています。今年、総社にとってのも正念場ではなからうかと思っています。

**議長** 物づくりの成功は、人づくりにもつながるものです。大学のもつ可能性もアップするんではなからうかなあと思います。

**市長** 産官学というのは、言葉では非常にたやすいことですが、やろうと思えば非常にむずかしいと思います。成功事例といわずとも、何か糸口を目指してきたいです。

**議長** 今年、胎動から飛躍する年にと市長は言われますが、

**市長** さまざまな政策というものを実現していくこと、限りなく新たなチャレンジ、新たな進捗ちきくというものを目指し続けていきたいと思っています。

**議長** 市の機構改革も予定されていますよね。

**市長** 4月1日付けで行う機構改革の検討を進めています。市民の立場に立ち、全ての部、課、係を見直します。例えば、国際交流、地域密着主義、窓口サービスの充実などの部署の新設を考えています。それから、施設の有効活用観点から清音支所に事務機能の一部の移転も検討しています。

**議長** 費用を削減し、新たな財源を確保することに努めていきます。

**学長** ふるさと納税の効果はどうですか。

**市長** 231万円の寄付をいただきました。納税された人の気持ちに答えられるような使い方をしたいなと思っています。

**議長** 最後に、夜間の救急医療対策については、市民からの要望が絶えない大きな課題ではなからうかと思っています。今、医師会と話しをしようというのですが、市民は期待をしています。

**学長** 夜間の輪番制の医療というものも確立できれば、市の魅力として大きなPRになると思います。本学の学生も総社市には多数いますから、がんばってください。

**市長** 吉備医師会と協議を重ね、夜間の在院での輪番制でやっついこうと細部を詰めていく作業をしています。できるだけ早く形にし市民の皆さんに公表したいと思っています。

